

製品名: フィブリン 1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe85568

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IP 1:10-1:20 |
| 分子量 | Calculated MW: 77 kDa; Observed MW: 77 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|----------------------|
| 遺伝子名 | Fibulin 1 |
| 別名 | FBLN; FIBL1 |
| 遺伝子 ID | 2192.0 |
| SwissProt ID | P23142 |
| 免疫原 | ヒトフィブリン 1 の組み換えタンパク質 |

背景

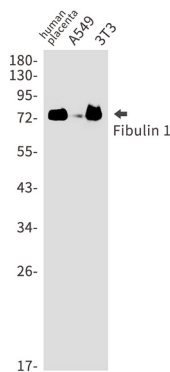
フィブロネクチン含有マトリックス繊維に組み込まれる。細胞外マトリックス (ECM) 内のタンパク質繊維に沿った細胞接着および

遊走に關与する可能性がある。特定の發生過程において重要であり、ECM 構造、特に基底膜の超分子組織化に寄与する可能性がある。細胞形質転換および腫瘍浸潤における役割が示唆されており、腫瘍抑制因子であると考えられる。フィブリノーゲンと結合して血栓に取り込まれる能力により、止血および血栓症に關与する可能性がある。APP、特に可溶性 APP の神經栄養活性の調節において重要な役割を果たす可能性がある。

研究分野

-

画像データ



フィブリン 1 抗体を使用した、ヒト胎盤、A549、3T3 溶解物中のフィブリン 1 のウエスタン プロット分析。